

イチャオシ!

M OVIE

『リベリアの白い血』

2011年の選挙で現政権が誕生するまで、クーデターや内戦が続いたリベリア。平和になり、かつての戦士たちはゴム農園で働いて家族を養っていた。主人公のシスコは賃上げ要求のストライキに加わるが、状況は変わらない。そんなとき従兄弟の誘いに夢を託し、アメリカへ。ニューヨークのリベリア人コミュニティに身を置き、タクシー運転手として働き出す。しかし予期せず内戦時代の仲間と出会い、忌まわしい悪夢がよみがえる。シスコは過去と決別できるのか——。日本人の若手監督がアメリカで生きる移民の今をリアルに描く。(文＝高倍宣義)



© 2017 nikonikofilm

2015年／アメリカ／88分

監督：福永壮志

出演：ピショップ・プレイ、ゼノビア・テイラー、ディヴィッド・ロバーツ他

公開：8月5日(土)よりアップリンク渋谷(東京都渋谷区)他全国順次公開

URL：<https://liberia-movie.com/>

配給：ニコニコフィルム

B OOK

『ひとたび てつたび』

「ヨォ!」という乾杯の掛け声を教えてもらったベトナム、おすわけのピリヤニ(炊き込みごはん)のおいしさに感動したインド、今にも壊れそうなオンボロ車両でジャングルの中を進んだマレーシア——。アジア各地のローカル列車の中は、現地の人々との出会いであふれている。著者は20年間、カメラを片手にローカル列車を乗り継ぎ、13の国や地域を巡ってきた鉄道写真家だ。たまたま列車の中で時間を共有した一期一会の人々のまなざしを捉え、そこから垣間見えた人々の暮らしをつづったフォトエッセイ。



米屋こうじ 著
ころから
1,728円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

E VENT

『日タイ修好130周年記念特別展 タイ～仏の国の輝き～』

2017年は、日本とタイが正式な外交関係を築いてから130周年にあたる記念すべき年。長い歴史の中で、人々の暮らしに寄り添う多様な仏教文化が花開いたタイ。古代国家からタイ黎明期のスコタイ朝、国際交易国家アユタヤー朝、現王朝のラタナコーシン朝に至る約140件の仏教美術の名品を通じて、仏教国タイの歴史と文化や、日本とのつながりを学ぶことができる。



「金象」(金・貴石製)アユタヤー県ワット・ラーチャブーラナ遺跡仏塔地下出土アユタヤー時代(15世紀初め)チャオサムブラーヤ国立博物館 所蔵

会期：7月4日(火)～8月27日(日) 9:30～17:00

月曜休館(ただし8月14日は開館)

金曜・土曜は21:00まで、日曜は18:00まで

会場：東京国立博物館 平成館

URL：<http://www.nikkei-events.jp/art/thailand/>

問：東京国立博物館

TEL：03-5777-8600

B OOK

『14歳からのパレスチナ問題』

これだけは知っておきたいパレスチナ・イスラエルの120年

なぜパレスチナには平和が訪れないのか? ユダヤ教、キリスト教、イスラム教という3大宗教の聖地が集まり、大国の利害が複雑に絡み合っているこの土地では、今も人々はぶつかりあい、悩み、血を流している。パレスチナに生きる人々が経験したこれまでの120年の歴史をわかりやすく解説した本書。紛争を平和的に解決し、この土地に暮らすすべての人々が平和に暮らすための知恵を見つけないという著者の思いが込められている。



奈良本英佑 著
合同出版
1,598円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ